



令和6年3月11日（月）、12日（火） 令和5年度消防大学校警防科(第112期) 伝達研修(土砂災害対応訓練)を実施しました！

近年、気象変動の影響による集中豪雨や地震発生による、大規模な土砂災害の発生が懸念されています。当消防本部管内においても例外ではなく、豪雨等の影響により土砂崩れが多発している現状から、災害発生時に要救助者を早期に発見・救出するため、土砂災害時における救助活動の基本的な考え方を共有しておく必要があります。

これらの背景から、今年度消防大学校警防科卒業者により、職員の共通認識の確立及び現場対応能力の向上を図ることを目的として土砂災害対応訓練を実施しました。本訓練には2日間で36名の隊員が参加し、要救助者の四方を囲い、内側の土砂を除去して救助する「内掘り」や複数の隊員が要救助者の周りの土砂を一方方向に除去する「一方掘り」の技術を高めました。

実際に隊員を腰付近まで埋めた状態での土圧体験を行うことにより、自力では脱出できないことや力では引き抜けないことなどを体験することで、掘削方法の習得や土砂の特性を理解する良い機会となり、とても有意義な訓練が実施できました。

また、本訓練では活動中の二次災害防止のために指導員の他に安全管理員を複数名配置して実施しました。



